

事務連絡
令和3年2月9日

東京工業大学 御中

公益財団法人原子力安全研究協会

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 FS審査委員会評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後FS審査委員会評価結果を、以下のとおり通知いたします。

課題名	原子力エネルギー高度人材育成統合拠点
実施機関	東京工業大学
代表者	小原 徹

【評価結果】

B	一部の内容について継続は妥当である。または、改善の上での継続が妥当である
---	--------------------------------------

※) A ; 継続は妥当である。

B ; 一部の内容について継続は妥当である。または、改善の上での継続が妥当である。

C ; 継続すべきでない。

【FS審査委員会所見】

- 大学院修士課程～博士課程人材の育成として重要な意義を有した活動であると考えられ、プログラムの実現により確実な教育効果が見込まれるが、今回の説明ではNIBの実施内容が検討段階にあり期待される成果が見えにくい。
- 先端人材の育成として英語によるコミュニケーションの経験は意義があると考えるが、コロナ禍においては対面による教育は難しいため、代替案の検討も必要である。
- 自機関の学生に向けた内容という印象があり、本事業の目的が我が国の原子力分野の人材育成機能の維持・充実に寄与することであると考ええると、全国の学生が参加しやすくなる工夫をする必要がある。なお、多くの学生が参加できるという観点では、海外にて国際学会が開催される際に学生を派遣することなどが考えられるが、コンソーシアム全体の実施内容も踏まえ、PD・POの指導の下、具体的な方策を検討することが望ましい。
- 我が国全体として原子力人材育成の基盤の底上げを図っていくことが重要であり、コンソーシアム内の各機関の連絡・調整を十分に行之、PD・POの指導下で事業を進めていくこと。

以上